

美術科

美術科について、以下の観点に基づき、発行者ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 日常生活や社会の中の美術の働きや美術文化と豊かに関わる資質・能力を身に付けられるよう、生徒が対象や事象を造形的な視点で捉え、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して自分なりの意味や価値をつくるなど、造形的な見方・考え方を働かせた活動が適切に取り上げられていること。
- 5 表現及び鑑賞の活動が相互に関連付けられているとともに、対象や事象を形、色彩、材料、光などの性質や働き、全体のイメージ等で捉え、生徒が強く表したいことを豊かに発想したり、構想したり、感性や想像力を高めたりしながら、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情、伝統と文化を尊重しそのよさを継承・発展しようとする態度、豊かな情操等を養えるよう工夫・配慮がなされていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

美術科

調査研究の結果の概要

■開隆堂出版「美術 1」「美術 2・3」

各題材名の横に育成すべき3つの資質・能力に応じた「学習の目標」が簡潔に明示されており、イラストの吹き出しに生徒が主体的に考えたり話し合ったりするポイントを示すことで、題材のねらいや身に付けるべき知識及び技能が分かりやすくなるように配慮されている。また巻末の「学びの資料」では、構図の捉え方や量感の表現、色彩の基本、映像のメディアの活用方法など、表現のための技法理解や鑑賞材料などの基礎的な知識、様々な用具の基本的な使い方がまとめられており、生徒が学習した知識及び技能を必要に応じて参照し、振り返ることができるよう工夫されている。

生徒の探求意欲を高められるよう、折り込みページの外側に鑑賞のポイントを示す問いかけを、内側に大型図版を掲載することで、折り込みを開きたくなるような構成であり、また原寸大に拡大した作品写真を用いた話し合い活動を設定することで鑑賞の視点を広げたり、表現に生かしたりできるなど、主体的・対話的に学ぶための工夫がなされている。

映像メディアの特徴を生かした表現や鑑賞の学習に取り組む題材の設定、また生徒同士が自分の考えを伝え合ったり、相談したりしながら造形活動に取り組む様子を掲載することで、生徒のICT機器の活用を自然に促し、対話を通じた協働的な学びを進められるよう工夫されているが、1つのモチーフに対してどのような表現方法ができるのかを提案する部分が少なく、個別最適な学びの実現にはつながりにくい。

全題材において、表現活動と鑑賞活動について「鑑賞」「発想・構想」「知識・技能」など作品とともに発問が設けられており、生徒が考えて取り組めるよう構成されているが、表現と鑑賞が結びつくようなポイントの明示が不十分であり、生徒に表現と鑑賞を相互に意識させたり、関連させたりする手立てが弱い。

■光村図書出版「美術1」「美術2・3」「美術1資料」

各題材の最初には分かりやすく目標が示されており、1つの題材で「表現」「鑑賞」を一体的に関連付けて学ぶことができるよう工夫されている。また1～3年生の学習を支える資料が1つの別冊子にまとめられており、図版が大きく掲載され、丁寧で分かりやすい説明も記載されている。さらに同じ題材でも異なる配色や材料、道具を使った表現を並べて配置することで違いが分かりやすいレイアウトになっている等、生徒が主体的に参照し、活用したりできるよう工夫されており、優れている。

折り込みページの裏表や上下に作品をレイアウトすることで、構図や形、色の視点から比較して鑑賞することができ、生徒が違いや共通点を探究する意欲につながる構成となっている。また、「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」のページには和紙のような風合いの用紙が使われており、生徒が日本美術の魅力を深く味わい、体験的に学びを深められるよう工夫されており、優れている。

ICT機器の正しい活用方法、写真や動画の撮影方法の解説、またICT機器を使い生徒同士が協働しながら制作する過程や作品を積極的に掲載することで、生徒がICT機器の活用に関心を持ち、協働的な学びを自然に展開できるよう工夫・配慮されている。また生徒自身が必要な情

報にすぐたどり着けるよう、別冊子に資料がコンパクトでわかりやすくまとめられているため、生徒自身で調整しながら、個別最適な学びが進められるように配慮されており、優れている。

「表現」と「鑑賞」の相互関係が全題材で意識されており、生徒が各活動で学習内容を確認し、造形的な見方・考え方を働かせながら学習できるよう構成されている。また表現活動をするうえで、導入時に「鑑賞」活動を設け、吹き出しに視点のポイントを示すことで、主体的に学習を進められるよう工夫されており、優れている。

■日本文教出版「美術1 美術との出会い」「美術2・3上 学びの実感と広がり」

「美術2・3下 学びの探求と未来」

生徒にとって題材のねらいや身に付けるべき知識及び技能が分かりやすいよう、各題材の横には育成すべき3つの資質・能力に応じた「学びの目標」の簡潔な明示、「造形的な視点」ではその題材で考えたり話し合ったりするポイントが示されるなど工夫されている。また巻末の「学びを支える資料」には、技法・色彩・鑑賞に分けて必要な解説がまとめられており、学習した知識及び技能を必要に応じて参照し、振り返ることができるよう工夫されている。

「鑑賞の入り口」を解決するために必要な知識を、「造形的な視点」で具体的に示すことで、生徒が探求意欲を高めながら自らの力で課題を解決するように導く工夫がなされ、さらに表現活動に必要な発想・構想の手立てや技能面の補足を、「表現のヒント」として短い言葉で具体的に示すことで、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。

タブレット端末でアプリケーションを活用したり、カメラ機能を使って表現や鑑賞を行ったりする様子など、各所に設定される「表現のヒント」や巻頭にICT機器を活用しながら作業や対話を行う様子が掲載されており、個別最適な学びと協働的な学び、またICT機器の活用を自然に展開できるよう工夫・配慮されている。

各題材で作品鑑賞をする際に主発問となる「鑑賞の入り口」を設けることで、活動のねらいを理解し、生徒が自分なりの問いを生み出して、能動的・体験的に学習を深められるよう工夫・配慮されている。また「表現」と「鑑賞」の相互を関連付けながら学習が進められるよう全題材に双方の「学びの目標」が設けられており、「造形的な視点」と併せて鑑賞することにより、生徒が鑑賞して気付いたことを活用し、見通しを持って表現及び鑑賞活動ができるよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点			開隆堂	光村図書	日本文教出版
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。	1	基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	◎	○	
		2	指導事項(学習のめあてや振り返り活動等)の明示	○	○	○	
2	習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。	1	習得した知識及び技能の活用を促す工夫	○	◎	○	
		2	問題解決的な学習や言語活動の充実の工夫	○	○	◎	
		3	思考力、判断力、表現力等の育成に向けた工夫	○	◎	◎	
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮がなされていること。	1	探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	○	◎	○	
		2	発展的な学習活動につながる工夫	○	○	◎	
		3	ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	△	◎	○	
4	日常生活や社会の中の美術の働きや美術文化と豊かに関わる資質・能力を身に付けられるよう、生徒が対象や事象を造形的な視点で捉え、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して自分なりの意味や価値をつくるなど、造形的な見方・考え方を働かせた活動が適切に取り上げられていること。	1	日常生活や社会での美術の働きや美術文化との関わり工夫	○	○	○	
		2	造形的な視点で捉えることができる内容と展開の工夫	△	◎	◎	
5	表現及び鑑賞の活動が相互に関連付けられているとともに、対象や事象を形、色彩、材料、光などの性質や働き、全体のイメージ等で捉え、生徒が強く表したいことを豊かに発想したり、構想したり、感性や想像力を高めたりしながら、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情、伝統と文化を尊重し、そのよさを継承・発展しようとする態度、豊かな情操等を養えるよう工夫・配慮がなされていること。	1	表現と鑑賞の関連を図る手立ての工夫	△	◎	○	
		2	形や色などの捉え方や全体のイメージを大切に展開の工夫	△	○	○	
		3	発想力や構想力を高めたり、感性や創造力を十分に働かせる活動の充実	○	◎	◎	
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。	1	人権教育の推進	○	○	○	
		2	道徳教育の推進	○	○	○	
7	系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。	1	題材構成の系統性・発展性	○	○	◎	
		2	他教科や教育課題等との関連	○	○	○	
		3	他校種との接続	○	○	○	
		4	家庭・地域との連携	○	○	○	
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	

【美術】観点別資料

【選定の観点1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
9 開隆堂	38 光村	116 日文
<p>○巻末に「学びの資料」として構図の捉え方や量感の表現、色彩の基本、映像のメディアの活用方法など、表現のための技法理解や鑑賞材料などの基礎的な知識、様々な用具の基本的な使い方などがまとめられていることで、生徒が必要に応じて主体的に調べることができ、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各題材名の横に育成すべき3つの資質・能力に応じた「学習の目標」が簡潔に明示されており、またイラストの吹き出しに生徒が主体的に考えたり話し合ったりするポイントを示すことで、題材のねらいや身に付けるべき知識及び技能が分かりやすくなるように配慮されている。また関連ページを明示したり、巻末に「学びの資料」として、材料や用具の使い方などをまとめて掲載したりすることで、生徒が学習した知識及び技能を必要に応じて参照し、振り返ることができるよう工夫されている。</p>	<p>○「学習を支える資料」として、描く、つくる、映像メディアの活用などの基礎的な知識や形と色などについて具体例を挙げながら簡潔に整理されている。1年生時のものは別冊子になっており、図版が大きく掲載され、丁寧で分かりやすい説明も記載されている。また同じ題材でも異なる配色や材料、道具を使った表現を並べて配置することで違いが分かりやすいレイアウトになっている等、生徒が主体的に参照し、活用できるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○各題材の最初には分かりやすく目標が示されており、1つの題材で「表現」「鑑賞」を一体的に関連付けて学ぶことができるよう工夫されている。1～3年生の学習を支える資料が1つの別冊子にまとめられているため、学習した知識及び技能を必要に応じて参照し、振り返ることができるように工夫されている。</p>	<p>○巻末に「学習を支える資料」として、表現 鑑賞・技法・色彩・鑑賞に分けて必要な解説がまとめられたページを掲載することで、生徒がいつでも主体的に調べることができ、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各題材の横に育成すべき3つの資質・能力に応じた「学習の目標」を簡潔に明示するとともに、「造形的な視点」としてその題材で考えたり話し合ったりするポイントを示すことで、生徒にとって題材のねらいや身に付けるべき知識及び技能が分かりやすいように工夫されている。また巻末に「学習を支える資料」として、材料や用具の使い方などをまとめて掲載することで、学習した知識及び技能を必要に応じて参照し、振り返ることができるよう工夫されている。</p>

【選定の観点2-1】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
9 開隆堂	38 光村	116 日文
<p>○複数の題材に横断的に活用されている基礎的な知識及び技能が、巻末の「学びの資料」に系統的に示されていることに加え、題材のねらいが相互に関連するページをマークで示すことにより、生徒が習得した知識及び技能を主体的に活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○鉛筆や筆による描き方など、複数の題材に横断的に活用されている知識及び技能について、別冊子「資料」に系統的に示されていることに加え、「みんなの工夫」では、中学生による実際の制作過程の様子が発想や構想と共に紹介されることにより、自身の発想・構想や制作過程と比較しながら習得した知識及び技能を主体的に活用し、表現に生かしていけるよう工夫されており、優れている。</p>	<p>○「色彩の基本・仕組み」など、複数の題材に横断的に活用されている知識及び技能について、巻末の「学習を支える資料」に系統的に示されていることに加え、題材のねらいに関連した作品を掲載することにより、生徒が習得した知識及び技能を主体的に活用できるよう工夫されている。</p>

【選定の観点2-2】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
9 開隆堂	38 光村	116 日文
<p>○吹き出しのコメントにおいて、題材に関する特徴を発見するなど、具体的な学習課題を提示したり、また感じたり、気付いたりしたことを話し合う活動を取り入れることで、生徒が問題解決的な活動を通して言語活動の充実が図られるよう工夫されている。</p> <p>○絵の具や色画用紙を並べながら色の組み合わせを考える手立てや、材料と色を含めた光源の違いによる影の変化に注目させる吹き出しのコメントによって、生徒が題材に関するイメージを広げられるようになっており、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されている。</p>	<p>○「鑑賞」の冒頭に学習の手立てを提示したり、「POINT」で思考の視点が示されており、生徒が感じたり気付いたりしたことを話し合うことで、デザインの原理・原則とその機能についての理解を深める問題解決的学習、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。</p> <p>○「発想・構想のために」では、マッピングやベン図などの思考ツール、スケッチブック、話し合いの方法などが示されており、生徒がそれらを活用することで多面的・多角的に題材に関するイメージを広げられるなど、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されており、優れている。</p>	<p>○「造形的な視点」を基に、題材の特性とデザインの工夫などについて具体的に考えたり話し合う活動を行うことで、生徒が問題解決的な活動を通して言語活動の充実が図られるよう工夫されている。各所に設けられている「表現のヒント」により思考を働かせ、また生徒が話し合い活動などによるコミュニケーションを取りながら造形活動を行う様子を写真で紹介するなど、言語活動の充実を図るために工夫されており、優れている。</p> <p>○「発想・構想の手立て」において、生徒が構想のイメージを広げられるよう、実在のアーティストがどのように作品を発想・構想しているかの紹介や、マッピングやアイデアスケッチ例を示すなど、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されており、優れている。</p>

【選定の観点3-1】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

発行者名		
9 開隆堂	38 光村	116 日文
<p>○折り込みページの外側に鑑賞のポイントを示す問いかけを掲載し、内側に大型図版を掲載することで、折り込みを開きたくするような構成にして、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。また、原寸大に拡大した作品写真を用いた話し合い活動を設定することで鑑賞の視点を広げたり、表現に生かしたりできるように、主体的・対話的に学ぶための工夫がなされている。</p>	<p>○構図や形、色の視点から比較しながら鑑賞できるよう、折り込みページの裏表や上下に作品をレイアウトすることで、生徒が違いや共通点を探究する意欲につながる構成となっている。また「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」のページには和紙のような風合いの用紙が使われており、生徒が日本美術の魅力を深く味わい、体験的に学びを深められるよう工夫されており、優れている。各所に掲載されている「みんなの工夫」では、生徒同士が話し合いながら作業を進める様子や制作過程を詳しく示すことで、「自分ならどういう作品をつくりたいか」と主体的・対話的に考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○全題材の各課題では学習内容をイメージできるタイトルや、「鑑賞の入り口」や「学びのはじめに」の中で「問い」を投げかけることで生徒が対話を重ねながら主体的・対話的に学習が進められるよう工夫・配慮されている。また「鑑賞の入り口」を解決するために必要な知識を、「造形的な視点」として具体的に示すことで、生徒が自らの力で課題を解決に導く工夫がなされ、探究意欲を高められるよう工夫されている。表現活動に必要な発想・構想の手立てや技能面の補足を、「表現のヒント」として短い言葉で具体的に示すことで、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p>

【選定の観点3-2】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

発行者名	9 開隆堂	38 光村	116 日文
<p>○学習をサポートする先生と生徒のキャラクターを掲載し、紙面への親しみをもたせるとともに、それぞれの視点からの言葉によって、より発展的な学習へと導かれるよう工夫・配慮されている。</p> <p>○ICT機器の活用による表現の広がりを目指して、映像メディアの特徴を生かした表現や鑑賞の学習に取り組む題材が設定されている。生徒同士が自分の考えを伝え合ったり、相談したりしながら造形活動に取り組む様子が掲載されており、生徒が自然に対話を通して思考を働かせ協働的に学びを進められるよう工夫されている。1つのモチーフに対してどのような表現方法ができるのかを提案する部分が少なく、個別最適な学びの実現にはつながりにくい。</p>	<p>○表現の活動の後に「作者の言葉」と共に作品を鑑賞することで、学習したことを活用して発展的に学びが深まるよう工夫されている。</p> <p>○ICT機器を使い、生徒同士が協働しながら制作する過程や作品を積極的に掲載するとともに、美術1では、ICT機器の正しい活用方法、写真や動画の撮影方法が解説されており、生徒がICT機器の活用に関心を持ち、協働的な学びを自然に展開できるよう工夫・配慮されている。また生徒自身が必要な情報にすぐたどり着けるよう、別冊子に資料がコンパクトで分かりやすくまとめられているため、生徒自身で調整しながら、個別最適な学びが進められるように配慮されており、優れている。</p>	<p>○各題材で作品鑑賞をする際に主発問となる「鑑賞の入り口」を設けることで、活動のねらいを理解し、生徒が自分なりの問いを生み出して、能動的・体験的に学習を深められるよう工夫・配慮されている。また社会の課題に疑問を投げかけたり、問い直したりしている現代アート作品や、映像表現をはじめとした様々な表現媒体を掲載することで、生徒が美術表現の広がりや可能性に気付くとともに、発展的な学習につなげる視点がもてるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○タブレット端末でアプリケーションを活用したり、カメラ機能を使って表現や鑑賞をしたりしている様子など、各所に設定される「表現のヒント」や巻頭にICT機器を活用しながら作業や対話を行う様子が紹介されており、個別最適な学びと協働的な学び、またICT機器の活用を自然に展開できるよう工夫・配慮されている。</p>	

【選定の観点4】

日常生活や社会の中の美術の働きや美術文化と豊かに関わる資質・能力を身に付けられるよう、生徒が対象や事象を造形的な視点で捉え、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して自分なりの意味や価値をつくるなど、造形的な見方・考え方を働かせた活動が適切に取り上げられていること。

発行者名	9 開隆堂	38 光村	116 日文
<p>○様々な分野で活躍する人が、美術で学んだ力をどのように生かしているのか具体的に書かれたコラムを掲載したり、美術で学習した内容を社会に生かすことを考えたりする活動など、表現力だけでなく生徒が多様な視点から生活や社会での美術の働きについて理解し、美術との豊かな関わりを考えることができるよう工夫されている。また、多くの題材で実社会の中に見られる美術の例が掲載されており、生徒が身の回りのものと美術の関わりに着目するよう工夫されている。</p> <p>○各題材の「学習の目標」で造形的な視点を示すことで、生徒が造形的な見方・考え方を働かせて発想や構想につなげられる構成としている。また、造形的な視点のキャラクターの吹き出しもあるが、全体で見ると少なく造形的な視点で捉えることが難しい。</p>	<p>○「暮らしの中のデザイン・工芸」において、生活の中で気付く色や形がデザインされている物や場面が、1日の時間の流れに沿って紹介されており、生徒が日常生活や社会の中にある美術に気付き、考えるきっかけとしている。また、美術1年巻頭の「うつくしい!を探してみよう」では、中学生が「うつくしい」と思った瞬間や風景を撮影した写真が掲載されており、身近にある「うつくしさ」に目を向けられるよう工夫されている。</p> <p>○各題材で「表現」「鑑賞」両方のポイントが記載されており、生徒が造形的な視点から見方・考え方を働かせ、作者の主題に気付き、造形的な視点を基に学習を振り返り、表現と鑑賞の活動を相互に関連付けながら資質・能力を身に付けることができるよう工夫されており、優れている。</p>	<p>○様々な分野で活躍する著名人による、美術がもたらす、自身に身に付く力や他人に作用する力などが紹介され、生徒が生活の中の美術や、社会と美術とのつながりに目を向け、美術と豊かに関わることについて考えることができるよう工夫されている。また、美術2・3年上巻「あなたの美を見つけて」では中学生が美しいと思った瞬間や風景を撮影した写真が掲載されており、身近にある「美しさ」に目を向けられるよう工夫されている。</p> <p>○各題材で着目させたい造形的な視点〔共通事項〕や考えさせたい効果等を「造形的な視点」として示し、「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」を基に掲載作品などの鑑賞、生徒自らの表現、お互いの作品の鑑賞を行うことで学びの定着を図ることができるように工夫されており、優れている。</p>	

【選定の観点5】

表現及び鑑賞の活動が相互に関連付けられているとともに、対象や事象を形、色彩、材料、光などの性質や働き、全体のイメージ等で捉え、生徒が強く表したいことを豊かに発想したり、構想したり、感性や想像力を高めたりしながら、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情、伝統と文化を尊重しそのよさを継承・発展しようとする態度、豊かな情操等を養えるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名 9 開隆堂	38 光村	116 日文
<p>○全題材において、表現活動と鑑賞活動について「鑑賞」「発想・構想」「知識・技能」など作品と共に発問が設けられており、生徒が考えて取り組めるよう構成されているが、表現と鑑賞が結び付くようなポイントの明示が不十分であり、生徒に表現と鑑賞を相互に意識させたり、関連させたりする手立てが弱い。</p> <p>○図版は大きく見やすく、発想の手立てや掲載作品の隣に作者の言葉が記載はされているが、発想や構想の段階から表現へ至るまでの思いの変化や工夫の提示は少なく、形や色などの性質の工夫や全体のイメージ等を捉えること、多彩な表現へ導くための工夫が弱い。</p> <p>○各題材の「学習の目標」において、形や色などの性質や働き、全体のイメージのほか、「鑑賞」「発想・構想」に応じたポイントが示されており、生徒が主体的に見方・考え方を働かせながら、豊かな発想や構想に基づいて、感性や創造力を高めていけるよう工夫されている。また、伝統工芸に関わる内容では、伝統を生かしつつ現代の生活に合わせて進化したり、形を変えて使われたりしている美術の事例が掲載されており、生徒が伝統と文化のよさに気づき、尊重する態度を養えるよう工夫されている。</p>	<p>○全題材の中で「表現」「鑑賞」の相互関係が意識され、生徒が各活動で学習内容を確認し、造形的な見方・考え方を働かせながら学習できるよう構成されている。また、表現活動をする上で導入時に「鑑賞」活動を設け、吹き出しに視点のポイントを示すことで、主体的に学習を進められるように工夫されており、優れている。</p> <p>○作者の制作意図、主題を生み出していく過程を理解して進められるように、それぞれの作品がどのようなイメージから形や色の表現へ至ったのかを示す作者の言葉が掲載されており、生徒が色や形を意識し、多様な表現方法の中から自分の主題に合うものを選択できるよう工夫されている。</p> <p>○各題材に鑑賞活動を設定し、別冊子「資料」や巻末の「学習を支える資料」と対応させながら、作品のよさや美しさを感じ、造形的な視点を働かせる発問を挿入することで、生徒が色や形を意識し、造形的な見方・考え方を働かせて作品を深く鑑賞したり、豊かに発想・構想したりするなど、感性や創造力を働かせながら学習できるよう工夫されている。また、巻末資料に全国47都道府県の伝統工芸一覧を掲載したり、北海道のアイヌ民族衣装と沖縄の紅型を比較した資料を掲載したりするなど、伝統と文化を尊重し、そのよさを理解し、継承・発展しようとする態度を養えるよう工夫されており、優れている。</p>	<p>○題材ごとに主発問「鑑賞の入り口」が設けられており、また全題材に「学習の目標」が「表現」と「鑑賞」双方の内容で示され、「造形的な視点」と併せて鑑賞することにより、生徒が鑑賞して気付いたことを活用し、見直しをもって表現及び鑑賞活動ができるよう、相互に関連付けながら学習が進められる構成とするなど工夫されている。</p> <p>○作者の考えに触れ、主題を生み出していく過程が理解できるよう、題材全般を通して「造形的な視点」や「表現のヒント」が設けられており、また、それぞれの作品がどのようなイメージから表現へ至ったのかを示す作者の言葉を添えて作品を掲載するなど工夫されている。</p> <p>○各題材の正文等に、表現と鑑賞の双方で働く造形的な見方・考え方が示され、鑑賞したことが発想や構想に生かされるよう工夫されている。また、生徒のアイデアスケッチや作品の他、「作者の言葉」で考えたことがどのように具体化していくか、イメージできるよう「表現のヒント」として提示するなど工夫されている。さらに、伝統の技を現代の生活に合わせた作品を含め、伝統工芸など伝統と文化に関わる作品が多く取り上げられており、生徒が身近なものに関心を向け、感性や創造力を働かせることができるように工夫がされており、優れている。</p>

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名	9 開隆堂	38 光村	116 日文
<p>○多様性やそれぞれの立場を認め合うことを啓発する学習内容や、平和や震災からの復興の発信、様々な国や地域における芸術による共生や理解についての具体的な解説などが掲載されており、美術を通して人権への理解が深まるよう工夫されている。また、題材紙面に設けられたコラムではSDG s マークと共に、題材内容と関わる造形的な取組や作品が紹介されており、美術の学習とSDG s などの現代的な課題を意識して学習することができるよう工夫されている。</p> <p>○3年間の美術の学びの最後に、美術を通して社会や人生を豊かにする生き方や、「寛容」をテーマとした関連作品が紹介されており、多様性の理解と共生の大切さを生徒に強く印象付けられる道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り入れられるなど工夫されている。</p>	<p>○アール・ブリュットの作家をはじめとした多様な表現の作品などを取り上げ、人権について深く考えることができるよう工夫されている。さらに、作品の鑑賞を通して、人の気持ちに寄り添うことに気付かせる作品が掲載され工夫されている。またSDG s の特集を掲載するなど、社会的な課題に対して啓発したり、影響を与えたりする美術の役割や美術の力と人間の生き方について考察できるように工夫されている。</p> <p>○道徳と関連する題材のページ下には、「道徳科とのつながり」というマークと共に生徒の成長に合わせた道徳の内容項目が示されており、生徒が道徳と美術の関連を意識して学べるよう工夫されている。</p>	<p>○アール・ブリュットや表現者の多様性、様々な立場の人が鑑賞することを想定した美術作品、平和と人権に関わる作家作品やポスターなどを取り上げ、生徒が社会的な課題を解決する美術の力について考えることができるよう工夫されている。またSDG s の各目標に関連するページには、マークで示されており、生徒が美術とSDG s 等の現代的な課題の関連を意識して学習できるよう工夫されている。</p> <p>○題材ページ下部に、道徳の内容項目に合わせて、生徒に語りかける内容が示され、道徳的な視点をもって考えられるよう工夫されている。また美しいものに感動する心をもつ、郷土の伝統文化を大切にし、愛する、我が国の伝統文化を大切にする等、生徒が道徳と美術の関連を意識して学べるよう工夫されている。</p>	

【選定の観点7】

系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名	9 開隆堂	38 光村	116 日文
	<p>○「美術と私と社会」では、これまでの学習を通して培った力や多様な見方・感じ方を生かして、これからの生き方や自身の未来を考える学習が設定されており、3年間の学びと豊かに生きることとの結び付きを感じ取れるよう工夫されている。</p> <p>○カリキュラムマネジメントの推進に役立てるように他教科との関連を意識した題材が多く掲載されており、様々な教科の学習と関連付けることで、美術の学習が一層深まるように工夫されている。</p> <p>○小学校の図画工作で学んだことが中学校の美術の学習にどのようにつながっていくのかが冒頭で説明されており、また表現と鑑賞がそれぞれどのような学習なのかをイメージ写真と共に示されるなど、小学校と中学校の接続を意識しながら学習できるよう工夫されている。</p> <p>○身近な地域にある美術館や作品を全国各地の事例を取り上げて掲載している。日本各地で学校と地域が連携した美術の例を紹介し、それぞれの地域の風土や伝統を反映した造形が紹介されるなど、地域の実態に応じて活動できるよう配慮されている。また、施設のロゴデザインなど、生徒が地域の中の造形に目を向けることができるよう工夫されている。</p>	<p>○1～3年生の学習内容を確認できる別冊子「資料」を使い、学んできたことを活用しながら展開できるよう工夫されている。また1年生では、図画工作科とのつながりを考え、2・3年生では、身に付けた資質や能力をさらに深め、歴史や社会との関係に視野を広げるなど、内容の系統性や学年の発達段階に配慮された構成にするなど工夫されている。</p> <p>○聴いた音楽のイメージをスケッチする活動をはじめ、他教科での学びを意識しながら表現や鑑賞の活動が行え、特に他教科との関連する題材のページには「○○科とのつながり」というコラムを設け、他教科での学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動を行うことができるよう工夫されている。また昨今の社会情勢を反映した作品を取り入れることで、総合的な学習の時間と関連させた学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○中学生が写した写真と文章、美術とは何か、美術作品の見方、美術の学び方を記載したページが掲載されるほか、小学校の頃の思いを重ねてつくられた作品を紹介するなど、小学校との接続を意識した工夫がされている。</p> <p>○図書館や駅などの地域の施設のデザインを紹介することで、美術が身近にあるということに気づき、関心を高めながら、美術の役割の理解につながる工夫がされている。風景や生活に目を向けた身近な題材を扱い、家庭生活の中での美術との関わりに目を向ける工夫がされている。</p>	<p>○中学3年間の生徒の発達について、授業の取材や全国各地の実践報告を基に研究し、発達の段階に応じて学びが獲得でき深められるよう、系統性に配慮して配列されている。美術1では、新しい見方や感じ方との出会いを大切に、美術の楽しさを感じられるように、美術2・3上では、試行錯誤を繰り返していくことで知的理解が深まり、美術の学びを実感できることが重視され、美術2・3下では、さらに自己を掘り下げて考えていく題材が設定され、進路や将来を見据えて自分らしい価値観が形成されることで未来へとつながるように配慮されており、優れている。</p> <p>○自然の造形を取り入れたデザインのよさを鑑賞する題材では、形の規則性や連続性、構造等を数学科や理科と関連させて学習することができるなど、他教科と関連させた題材が多く、意識的に扱うことで、生徒が美術の学習を幅広い視点で捉え、学びを広げたり、深めたりできるよう工夫されている。</p> <p>○美術1の巻頭「ようこそ美術の学びへ」では、小学校の図画工作から中学校3年間の学習の流れが示されており、生徒が見通しをもって学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○全国の様々な造形活動や取組、美術作品を掲載し、生徒が自分たちの住む地域や全国の活動への関心を高めながら、美術の学習に取り組めるよう工夫されている。また、全学年を通して生活と美術の関わりを感じることができる題材が扱われ、生徒が家庭で美術との関わりを考えることができるよう工夫されている。</p>

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名	9 開隆堂	38 光村	116 日文
	<p>○題材の最初に提示されている主文は三文程度にまとめられており、一読でその内容が読み取れる文章量になっている。また、各解説や「作者のことば」についても、一文程度にまとめられており、全体として、形や色彩を中心とする美術科の学習にとって適切な文章量になるように工夫されている。A4ワイド判の紙面に魅力的な大型の図版を掲載することで、小さい図版では気付かないような細かい表現まで見て取ることができ、生徒の鑑賞の視点が広がったり、自身の表現に生かしたりすることができるように工夫されている。</p> <p>○紙面全体に識別しやすい配色や形状を採用するなど、カラーユニバーサルデザインが採用されるなど工夫されている。全ページにユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用している。中学校以降に学習する漢字や美術専門用語には振り仮名を付し、改行についても視覚特性のある生徒や文章理解に特性のある生徒への配慮がなされている。色の学習の図においても、明度と彩度の関係性を黄の色相で掲載しており、色覚に特性のある生徒がつまずきを感じることも無く学習できるように工夫されている。</p> <p>○開いたときの使いやすさと堅牢さを考慮したのり付けがされており、長時間の使用に耐えられるよう工夫されている。</p> <p>○掲載図版の鮮明度を保ちつつ、環境に配慮した用紙が使用されている。植物性インクを使用し、人体への影響が少なく、化学物質に敏感な生徒の安全面に対しても配慮されている。</p>	<p>○図版や写真のキャプションには、作品の名称、材料や技法、大きさ、制作年、作者名と生没年・出身地が示され、適宜、簡潔な解説文も添えられており、学習を進める上で有効な情報となるように配慮されている。作品写真の色は作者や所蔵美術館が校閲しており、生徒が鑑賞の際に実物に近い色を感じ取ることができるように工夫されている。美術1、美術2・3はA4ワイド判で、鑑賞図版が大きく掲載され、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。</p> <p>○図版同士の間隔を空け、罫線を引くなど、境界線を明確に区別できるように工夫されている。小さく掲載する文字にはユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用するなど、読みやすさが重視され、特別支援教育への配慮もされるなど、工夫されている。</p> <p>○資料は中綴じにすることで、表現活動や技能を発揮するために必要なスペースが確保できるように工夫されている。製本は堅牢で、生徒がページを開きやすい綴じ方に工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した紙と植物性インクが使用されている。</p>	<p>○主文では、発達の段階に合わせて生徒が造形的な見方・考え方を意識して題材に取り組むことができるように、イメージを広げやすい言葉を選び、工夫されている。題材ページの「作者の言葉」は、掲載されている作品の作者の思いが伝わるよう、発想・構想するときに役に立つような分かりやすい表現になっている。A4ワイド判で、作品や写真は見やすく、また印象強く掲載されており、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。</p> <p>○コントラストや文字背景色などカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性の有無にかかわらず、全ての生徒が等しく学べるよう編集されている。題材の領域を示すアイコンは見やすい配色にデザインされ、題材名・主文全般にユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し、読みやすさが考慮されている。ページの地色を白基調にすることで、作品の色に干渉しない紙面構成となっている。色の学習の図においても、明度と彩度の関係性を黄の色相で掲載しており、色覚に特性のある生徒がつまずきを感じることも無く学習できるように工夫されている。</p> <p>○製本は、通常は無線綴じよりも丈夫な見返し付きのあじろ綴じで、長期の使用に耐える丈夫な造本にされている。</p> <p>○環境に配慮した再生紙と植物性インクが使用されている。また化学物質に過敏な生徒のために表紙の表面加工が工夫され、化学物質の残存量を少なくするための努力が行われている。</p>